

第 1 1 回原子力委員会定例会議議事録（案）

- 1 . 日 時 2 0 0 3 年 4 月 2 2 日（火）9：30～9：50
- 2 . 場 所 中央合同庁舎第 4 号館 7 階 共用 7 4 3 会議室
- 3 . 出席者 藤家委員長、遠藤委員長代理、木元委員、竹内委員、森嶋委員
 内閣府
 榊原参事官（原子力担当）
 文部科学省
 原子力安全課 倉田安全審査企画官、岩田安全審査官
- 4 . 議 題
- （ 1 ）日本原子力研究所東海研究所の原子炉の設置変更〔NSRR 原子炉施設
 の変更〕について（答申）
- （ 2 ）国際関係専門部会の結果について
- （ 3 ）竹内委員の海外出張について
- （ 4 ）その他
- 5 . 配布資料
- 資料 1 - 1 日本原子力研究所東海研究所の原子炉の設置変更〔NSRR 原
 子炉施設の変更〕について（答申）
- 資料 1 - 2 日本原子力研究所東海研究所の原子炉の設置変更許可申請（N
 SRR 原子炉施設の変更）の概要について
- 資料 2 第 2 回国際関係専門部会の結果について（部会長報告）
- 資料 3 竹内原子力委員会委員の海外出張について
- 資料 4 第 1 0 回原子力委員会定例会議議事録（案）
- 資料 5 原子力委員会ホームページ

6 . 審議事項

(1) 日本原子力研究所東海研究所の原子炉の設置変更 [N S R R 原子炉施設の変更] について (答申)

標記の件について、倉田安全審査企画官より資料 1 - 2 に基づき説明があり、平成 1 5 年 1 月 2 9 日付け 1 4 諸文科科第 3 3 9 6 号をもって諮問のあった標記の件に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 2 6 条第 4 項において準用する同法第 2 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号及び第 3 号 (経理的基礎に係る部分に限る。) に規定する許可の基準の適用については妥当なものと認め、文部科学大臣あて答申することを決定した。

(藤家委員長) N S R R (Nuclear Safety Research Reactor) における安全研究の成果は、これまでも安全審査指針に反映されたりしてきた。今回は、軽水炉燃料の高度化に関する試験を実施するための変更である。

(竹内委員) 高燃焼度燃料や M O X 燃料は時代の流れに沿うものである。今回の変更も特段問題はない。

(藤家委員長) この変更に係る試験で得られた結果についても、これまでと同じように指針等に反映されるという理解で良いか。

(倉田安全審査企画官) そのとおりである。

(藤家委員長) 今後の研究の成果に期待したい。

(2) 国際関係専門部会の結果について

4 月 1 0 日 (木) に開催された第 2 回国際関係専門部会の結果について、榊原参事官より資料 2 に基づき説明があり、以下のとおり意見交換があった。

(遠藤委員長代理) 次回は今年中に開催したいと考えている。

(藤家委員長) 広範囲の議論ができ、いろいろな課題が提起された。その中には、別の専門部会で取り上げられていくべきものもあった。例えば、海外における核燃料サイクルの動きについては、原子力発電・サイクル専門部会でも議論した方が良いと思う。原子力二法人の件も含めて議論を進めたい。

(3) 竹内委員の海外出張について

標記の件について、榊原参事官より資料 3 に基づき説明があり、以下のとおり意見交換があった。

(竹内委員) ベトナムは、将来原子力発電の導入を考えている。日本原子力産業会議でも長年にわたりお付き合いしている。東南アジアとの連携を深められるよう努力したい。

(木元委員) 原子力に対する情熱があるとのことだが、一般の方々の関心はあまりなかったと思う。最近盛り上がってきたようだが、ベトナムではまだ水力が主流である。こういったことに関して話があれば、あとで教えてほしい。以前、日本の P A に関する資料を送付したことがある。P A についてどのように受け止めているのかについても関心がある。

(藤家委員長) 私も先日ベトナムに出張した。関係省庁は原子力導入についてやる気になっているが、重要なことは、国としてどう考えているのかという点である。

(遠藤委員長代理) 国としては、ファイナンスの問題が重要である。

(木元委員) 4 年ぐらい前にベトナムに行ったが、北部ではまだロシアの方が受け入れられていた。昔は旧ソ連から大型の水力発電が導入されたという経緯があるが、日本との関係がどうなのか関心がある。

(竹内委員) いろいろと情報を入手してきたい。ベトナムと日本は付き合いが長いが、最近は韓国がベトナムに対し積極的になっている。

(遠藤委員長代理) 竹内委員の発言のとおり、韓国はかなり熱心である。韓国以外にもフランスやロシアが強い関心を持っている。

(榊原参事官) 3 月末にベトナムの政府機関のミッションが訪日し、原子力関係機関を視察されたが、日本に来る前に韓国に立ち寄られていた。

(森島委員) ベトナムは、ファイナンスや技術移転などについて最も条件の良いところをパートナーとして選ぼうとすると思う。信頼があるというだけではだめである。将来においてベトナムとの関係を深めていく上では、党がどのように考えているのかが重要である。党との相談を経ないと国と

して最終的な決断ができないということがあった。ベトナムの政治的な仕組みについて良く考えておく必要がある。

(4) その他

- ・事務局作成の資料 4 の第 1 0 回原子力委員会定例会議議事録（案）が了承された。
- ・事務局より、原子力委員会のホームページが全面リニューアルされた旨、資料 5 に基づき報告があった。
- ・事務局より、5 月 6 日（火）に次回定例会議が開催される旨、発言があった。